

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月16日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901407		
法人名	有限会社 ノースランド企画		
事業所名	グループホーム らい鳥		
所在地	北海道旭川市末広4条7丁目5番5号 (電話) 0166-57-0882		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月13日	評価確定日	平成21年3月27日

【情報提供票より】(平成21年1月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年9月20日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	14人, 非常勤 4人, 常勤換算 9.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	3階建ての	2~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円	その他の経費(月額)	15,800~20,800円	
敷金	有(30,000円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有()円	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000円	

(4) 利用者の概要(1月29日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	6名	要介護2	2名		
要介護3	7名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	1名		
年齢	平均 87.1歳	最低	70歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人フクダ・加我歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

末広介護支援館ANNEXの2階及び3階部分で開設され、地域で親しまれている母体医療法人が道路向かい側にあり、周辺には閑静な住宅街が広がる立地条件に恵まれている2ユニットのグループホームです。理念を実現するために、職員一人ひとりが具体的な目標をたてその実践に向け取り組んでいると共に年度末には管理者による目標管理がフォローアップされています。また、系列の事業所間で事例研究を行い、職員の自己啓発とスキルアップに努め発表会が行われ、ケアサービスの質の向上に取り組んでいます。院内の職員の内部研修も充実し、誤薬・誤配など薬の管理、インフルエンザ予防対策や感染症予防などの研修も充実しています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、地域と連携した講習会実施などが挙げられていましたが、地域のふれあいサロン参加で食事会やカラオケなどの行事や地域の独居老人の不安な点や悩み事、健康相談など地域に密着した活動が行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、職員間で話し合わせられ運営推進会議においても報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に開催され、主な議題については 雪みちの歩き方基本(保健師による講習) ふれあいサロン参加について 年末楽しみ食事会について 健康相談について グループホーム入居相談について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 入り口に苦情箱を設置して、苦情等の意見を職員に言い表せる機会を設けています。また、家族の来訪し易い環境づくりの取り組みや来訪時には、意見や要望、不安な点などの話し合いが行われ、そこでの意見が運営に反映されています。ホーム行事に家族が参加できるように積極的に呼びかけも行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地区公民館で行われるふれあいサロンへの参加や演芸などのボランティアの受け入れ、町内会行事参加や近隣スーパーでの食材の買出しなど日常生活を通じて地域の人達との交流が行われています。また、保健師による講習会開催や地域の民生委員の協力を得ながらの協働など地域との連携に取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は、ミーティングやモニタリングを通じて理念を共有し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、理念を実現するために、職員一人ひとりが具体的な目標をたてその実践に向け取り組んでいると共に年度末には管理者による目標管理がフォローアップされている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区公民館で行われるふれあいサロンへの参加や演芸などのボランティアの受け入れ、近隣スーパーでの食材の買出しなど日常生活を通じて地域の人達との交流が行われている。また、保健師による講習会開催や地域の民生委員の協力を得ながらの協働など地域との連携に取り組まれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については、職員間で話し合わせられ運営推進会議においても報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されている。委員は、利用者、家族、町内会役員、知見を有する有識者、民生委員、法人役員及び管理者・職員で構成されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、市の講習会参加や研修会参加をしながら、行政や包括支援センターとの連携の重要性について充分認識して日々取り組んでいる。</p>		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理については、領収書と出納帳で定期的に報告している。また、らい鳥だより「笑顔の花」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりやひな祭り、花見等のホーム行事参加の様子、新規採用職員の紹介など写真を掲載して分かりやすく家族に伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入り口に苦情箱を設置して、苦情等の意見を職員に言い表せる機会を設けている。また、家族の来訪し易い環境づくりの取り組みや来訪時には、意見や要望、不安な点などの話し合いが行われ、そこでの意見が運営に反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は、職員の離職・異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、ホーム入り口に職員の顔写真の掲示やらい鳥「笑顔の花」で新人職員の記事を掲載している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>系列の事業所間で事例研究を行い、職員の自己啓発とスキルアップに努め発表会が行われ、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、院内の職員の内部研修も充実し、誤薬・誤配など薬の管理、インフルエンザ予防対策や感染症予防などの研修も充実している。</p>		<p>特筆すべき点として、系列のグループホーム3事業所で行う事例研究発表会で職員の自己啓発とスキルアップに取り組んでいる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や包括支援センター、市の研修会参加を通じて、他施設との交流が行われケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学や自宅訪問などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう家族と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人と一緒に食事の準備やおしぼりたたみ、貼り絵などの作品をつくったり、散歩や買物など一緒に過ごしながらかたまり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて散歩や買い物、花見や紅葉狩り、寿司などの外食、貼り絵等の支援など本人を尊重した取り組みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画はセンター方式を元に作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度モニタリングを実施して計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、パワーリハビリテーションへの参加や歩行訓練、散歩や買い物、看護師・医師の往診など柔軟に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体医療法人の医師・看護師、協力医療機関との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて適切な医療が受けられるよう支援されて家族の信頼も厚い。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から母体医療法人と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みが行われている。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけや対応が支援されている。また、個人情報の扱いについては配慮された取り組みが行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に、散歩やスーパーでの買い物、ぬり絵や刺し子など趣味への支援などその日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、調理の準備や食事の準備、おしぼりたたみなどしている。		特筆すべき点として、家庭的雰囲気の中で職員手作りのおやつを楽しく談笑しながら味わっていた。また、食材は近くのスーパーへ都度買出しを行い鮮度や旬の食材を吟味して調達している。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2日を目安に入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながらおしぼりたたみや茶碗拭き、調理などの役割、散歩や買物など楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、散歩、スーパーでの買い物、花見や白鳥見物、公園までのドライブ、寿司などの外食など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防への通報訓練や実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されている。また、消火設備についても点検が実施され対策されています。</p>		<p>今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう、さらに働きかけていくことを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーは、母体法人の管理栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。また、具体的な食事摂取量・水分摂取量も記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって不快な臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。共用空間では、利用者と職員が和やかに談笑しながら季節毎の桜などの貼り絵を壁に展示したり、職員手作りのおやつを食べながら一人ひとりのペースや思いを大切にケア理念の実践に取り組まれている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇や使い慣れた家具、誕生会のプレゼントや写真が飾られ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。